

# ルネサンス

〒207-0033

東大和市芋窪5-1106-5

TEL 042-567-4332

FAX 042-566-3488

発行者

関野 たかなり

E-mail [sekino\\_takanari@hotmail.com](mailto:sekino_takanari@hotmail.com)

URL 工事中

中世の間にわすれられていたギリシャ・ローマの古典文化の復興を目指し、さらに人間の個性を重んじ、個々の能力を最大限に生かすよう努力する姿勢の事（イミダスより）

これを、発行者関野たかなり流に置き換えると、「今日、忘れられている古き良い習慣や道徳を取り戻し、今後の教育の中で個性や知性を最大限に引き出す教育や、問題解決に向けて努力する姿勢」です。

## 続編「今後の教育問題を考える」・・・

前回、表ページで掲載した、「東大和市政・教育関連・市民・各学校教師が一体となって取り組むべきではないでしょうか」という事を述べました。

その後、教育関連の新聞・ホームページ・等を検索していたところ、1月24日発行の新聞に教育の大切さ、本質を述べた記事がのっていました。今回は、その内容を書き綴っていきます。

今年度から中学校の理科で使われている、学習内容が大幅に削減された文部科学省の検定教科書では、学力低下は避けられない……。こう考える現場の教諭らが、「理想の教科書」を自主編集した。文科省の検定を経ていない「検定外教科書」だが、「義務教育ではここまで教えたい」という内容を、教育の現場側から教科書の形で問う画期的な試みだ。「ゆとり教育」を極めた現行の検定教科書に見切りをつけた理科教育関係者が、京都工芸繊維大学アドミッションセンターの左巻建男教授らと共に執筆した成果。（中略）

検定教科書から削除された「生物の進化」や、科学物質の理解に不可欠な「イオン」など、身の回りの科学を理解させるには欠かせない項目も詳述している。（中略）

現行の教科書は、昨年度までに比べて内容が三割削減され、「進化」も「イオン」も高校に先送りされている。高校で「生物」や「科学」を選択しなければ、学校教育でこれらをまったく学べない子供達がたくさん増える。「生活の中に科学や技術がますます浸透している状況で、これはまずい。科学的なものの見方は身につかない」そう受け止めた全国の約二百人の教諭らが、左巻さんを中心に、インターネットを使った情報交換で中学生に教えるべき内容を検討した。（中略）

従来の検定教科書の延長ではなく、「植物とは、いかなる生物なのか」という本質を、子供達に理解させたい」（中略）

うら面へつづく

この「ルネサンス」は、各駅にて一人で配布しています。2週間に1度(連日2日のサイクル)で配布しているため、同じ内容の物が配られる可能性があります。違う内容の「ルネサンス」かどうかの目安は、「紙の色」で分けていますので、確認してください。同じ内容の「ルネサンス」を受け取ってしまった方は、あしからず・・・

### 表面からのつづき

仕上がった検定外教科書は、「色刷りの図版などで視覚面を重視した検定教科書」に比べ、文章による説明が多い。「視覚面は実験や観察で十分行える。それを知識として定着させるには、たっぷり文章で説明することが欠かせない」(中略)

などといった文面が登載されていました。(読売新聞より)

このように、現場サイドからの意見を東大和市の行政や教育関連の方々が、もっとも取り入れていく事により、今の子供達が成人になる10年後20年後の東大和市、または、日本全国の人々が、人に思いやりを持ち、知識だけでは養えない、「知恵」を養っていけると、私、「関野たかなり」は思います。

2004年に変わる、「小中学校の一貫教育を各市町村が独自に行える制度」通達に向けて、今日からでも、考えていかなければならない問題です。

このレポートは、東大和全域に配布しています。本紙への感想・ご意見・市政への疑問・投稿など、どしどしお寄せください。

E-mail :sekino\_takanari@hotmail.com

Tel 042-567-4332

Fax 042-566-3488



発行者 関野たかなり

#### 本紙への感想

---

---

---

---

#### 市政へのご意見・疑問

---

---

---

---

必要項目記入の上、FAXにて送信して頂ければ幸いです  
(042 566-3488)

差支えなければ、下記項目をご記入ください。

氏 名 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_